

中野区公園再整備計画の策定に向けた考え方について

中野区では、「中野区都市計画マスタープラン」や「中野区みどりの基本計画」等に基づき、公園の整備や維持・管理を行ってきた。しかし、公園利用者の利用形態やライフスタイル等の社会情勢は常に変化を続けており、合わせて公園に求められる機能・役割を把握し、公園管理に活かす必要がある。

今後、時代やニーズの変化に応じた公園づくりを検討し、あらゆる世代の誰もが利用しやすい魅力的な公園環境づくりを推進するため、中野区の地域の特性を踏まえた公園の機能・役割・利活用等の基本的な考え方を取りまとめたので報告する。

1 中野区公園再整備計画の策定に向けた考え方（骨子）

- （1）施設の適切な配置・改修
 - （2）利用ルールの見直し
 - （3）維持管理コストの削減
 - （4）公園運営の視点
 - （5）安全・安心の確保
- ※詳細は別紙のとおり

2 今後の予定

令和2年度 中野区公園再整備計画の策定に向けた考え方に基づく計画策定

●背景と目的

中野区では、「中野区都市計画マスタープラン」や「中野区みどりの基本計画」等に基づき、公園の整備や維持・管理を行ってきました。しかし、公園利用者の利用形態やライフスタイル等の社会情勢は常に変化を続けており、合わせて公園に求められる機能・役割を把握し、公園管理に活かす必要があります。

今後、時代やニーズの変化に対応し、あらゆる世代の誰もが利用しやすい魅力的な公園環境づくりを推進するため、中野区の地域の特性を踏まえた公園の機能・役割・利活用等について、中野区公園再整備計画の策定に向けた考え方を取りまとめます。

●対象とする公園

中野区内のすべての区立公園（168公園）を対象とします。

●現状

<整備状況> (図1)

1,000㎡未満の公園が**64%**と最も多く、また、中野区立公園条例では1人当たりの標準公園面積を5㎡としています。現時点で**1.38㎡**と不足しています。
(令和2年1月現在)

図1 公園整備について



<施設の老朽化(更新、トイレ)> (図2)

開園後30年以上経過した公園は125公園*あります。施設の老朽化により多くの公園施設・遊具等が更新時期を迎えており、現在、公園遊具の安全確保に関わる緊急対策事業を進めています。また、全110箇所のトイレのうち、39箇所*が洋式化されていません。更新に伴い維持管理費用が増大していく傾向にあります。

*公園調査(東京都建設局)に基づく
*洋式便器が全く無いトイレの箇所数(令和2年1月現在)

図2 維持管理費(中野区施設白書より)



<利用ルール> (図3)

168公園ほぼすべてにおいて、禁止行為に対する看板が設置されており、時代の変化と共に多様化する苦情に対し、公園の実情に応じた適切な周知・啓発を行っています。

図3 看板の例



●意識調査の結果と課題

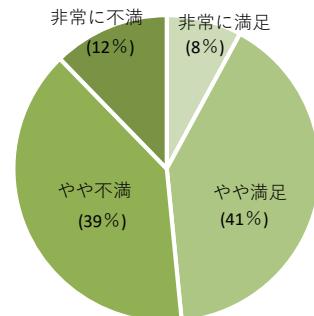
層化二段無作為抽出法による中野区民2,000人を対象に、公園に関する意識調査を実施し、684人から回答を得ました。

<公園の満足度>

公園の満足度については、やや不満・非常に不満を合計すると約半数を占めました。その理由は**公園自体の狭さ・少なさ等が約4割**のほか、ボール遊びができない、ペットを連れて入れない等の**ルールに関する不満が約2割**でした。

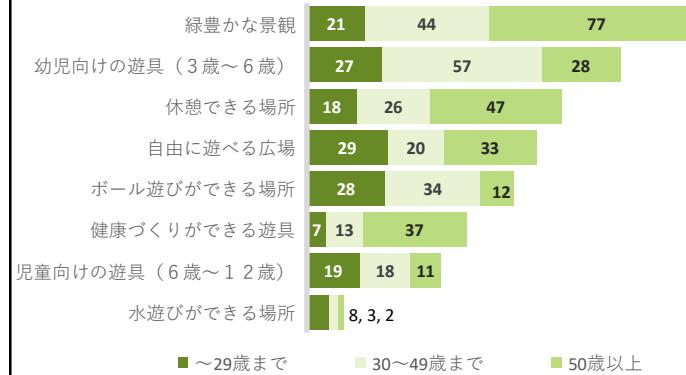
やや不満・非常に不満の理由

- 公園が狭い(22.5%)
- 公園の数が少ない(18.7%)
- ボール遊びができない(14.8%)
- 公園がきれいではない(12.2%)
- 公園の治安が悪い(7.5%)
- ペットを連れて入れない(4.9%)
- 交通の便が悪い(1.7%)
- その他(17.8%)

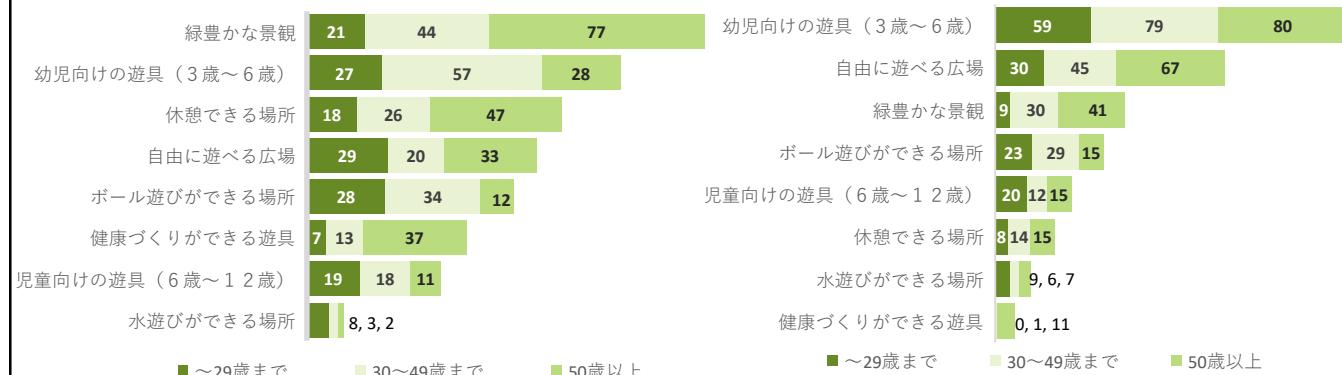


●意識調査の結果と課題(続)

<公園に必要なもの>

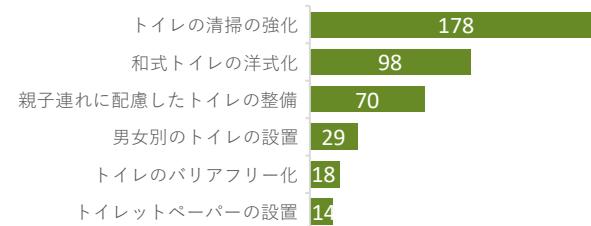


<子育てに必要なもの>



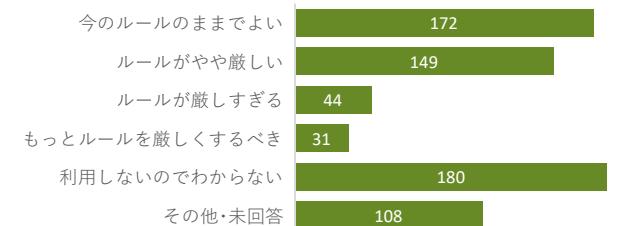
公園に必要なものは、幅広い世代の意見が多く集まった「緑豊かな景観」に次いで「休憩できる場所」でしたが、子育てに必要なものはどの世代も「幼児向けの遊具」が最も多く、「児童向けの遊具」に比べ倍以上の意見がありました。また、「自由に遊べる広場」はどちらも意見が多くなりました。

<トイレに関する必要な取り組み>



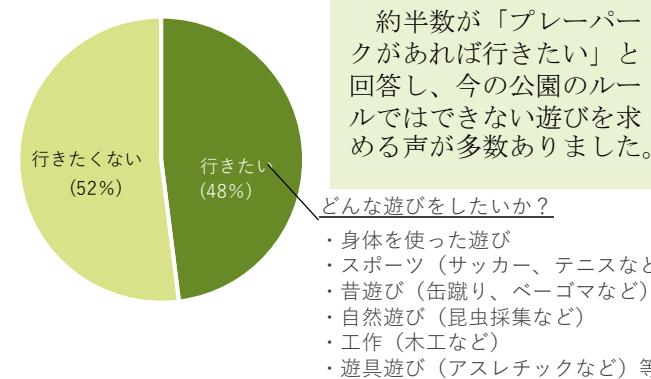
トイレに関する必要な取り組みは「トイレの清掃の強化」が多く、次いで「洋式化」や「親子連れに配慮したトイレの整備」など設備の改修を求める声が多数みられました。

<ルールに関する意見>



ルールの厳しさについては「厳しすぎる」と「やや厳しい」を合わせた緩和を求める意見と、「今のままで良い」という意見が同程度ありました。

<プレーパークについて>



<防犯面について>

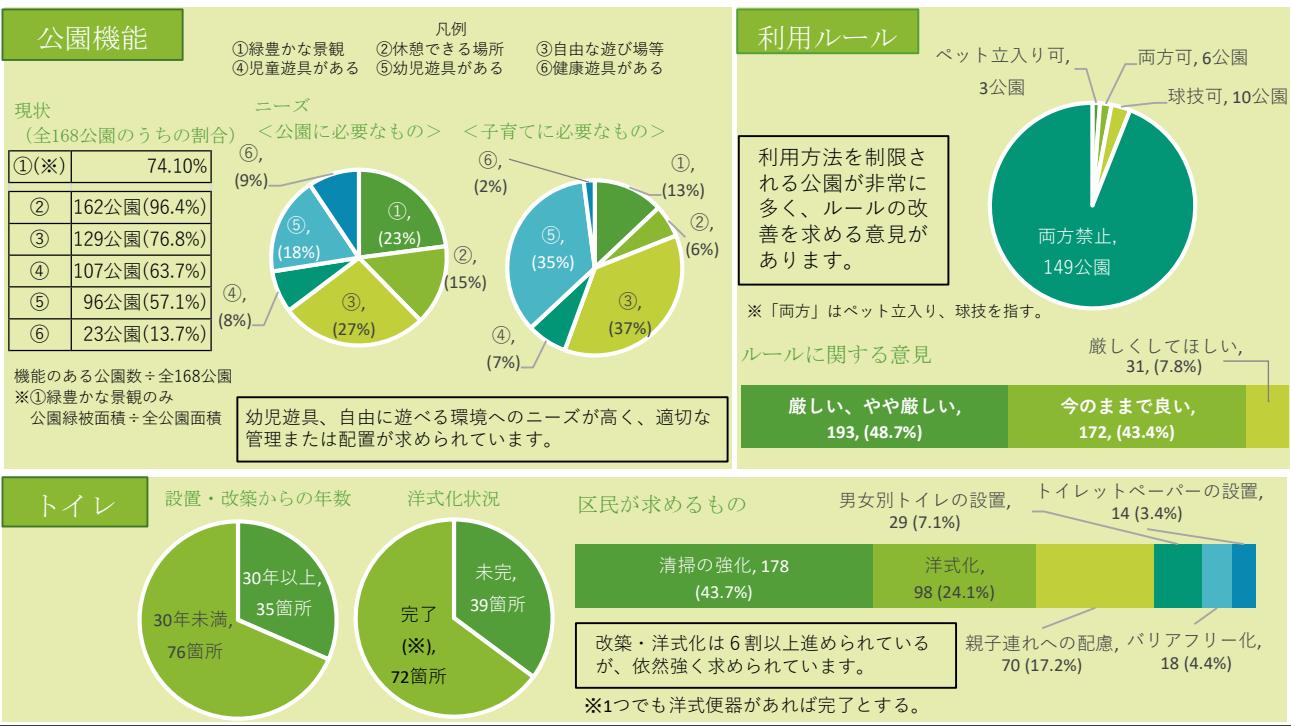


<公園の魅力が向上する施設について>

カフェ等の飲食店や運動教室・スポーツ施設にニーズが集まりました。



現状とニーズの関係性



●ヒアリング調査結果と課題

5企業を対象に民間活力導入の可能性を模索するため、ヒアリング調査を実施しました。

<ヒアリング対象>

スポーツ業 (1社)
 造園業 (2社)
 コンサルタント業 (1社)
 小売業 (1社)

<ヒアリング内容>

- ①事業参入を検討するための条件
- ②子育てに関連した民間活力導入施策と候補公園・事業概要
- ③イベント実施等の公園の賑わい創出施策
- ④利用ルールの周知及び定着化の手法

<ヒアリング結果の考察>

- ① 規模の大きな公園への事業参入は、立地や市場性等の条件が伴う。複数公園の包括管理は、民間企業としての採算性が合わず、加えて事務所整備が必要などの厳しい条件を解消する必要があります。
- ② 子育てに限定された計画ではなく、子育てを通じて地域全体のつながりを醸成する視点が重要です。また、親子連れに配慮した屋内設備の設置を検討する必要があります。
- ③ イベントの実施が地域醸成や公園利用のきっかけにつながりますが、大規模イベントや長期間の開催について、公園単独ではなく地域全体で連携できる土台づくりが必要です。
- ④ 住民との話し合いによるルール作り、地域を限定した試験的なルール適用等の様々な手法があり、柔軟な対応を検討する必要があります。

●意識調査・ヒアリング調査を踏まえた重点課題

- 空間やニーズに応じた安心して利用できる遊具の適切な配置・更新
- トイレの清掃強化のほか、洋式化や親子連れへの配慮等、トイレの利便性の向上
- 利用ルールに対して、不満と現状維持の意見が同程度あることを踏まえた柔軟な対応
- 維持管理費用の縮減や平準化を図るための仕組みづくりの検討
- 利用頻度の高い子育て世代をはじめとする公園利用者が、快適に公園を利活用できるような、多世代に応じた環境整備や、地域等と連携した運営
- 公園を安心して利用できるような、防犯対策等の環境づくり

重点課題を解決するための基本的な考え方

- ### 基本的な考え方1 施設の適切な配置・改修
- 子育てニーズに対応した遊具や、空間に適した遊具の配置などを適宜進めると共に、多世代のニーズに対応した機能の配置を必要に応じて検討します。
 - トイレの老朽化度合や利用頻度等の状況を踏まえて、洋式化やバリアフリー化を含む親子連れに配慮したトイレへの整備を順次進めていきます。
- ### 基本的な考え方2 利用ルールの見直し
- 公園の特性や周辺環境を考慮し、利用者と住民の双方が理解し合える柔軟な利用ルールを検討していきます。
 - 地域と連携したルールの設定や、区民と話し合うワークショップ等の手法も視野に、適切なルールの決め方を模索していきます。
- ### 基本的な考え方3 維持管理コストの削減
- 限られた財源の中で継続的に維持管理を行うため、民間活力の導入も視野にライフサイクルコストの低減を目指していきます。
- ### 基本的な考え方4 公園運営の視点
- カフェ等の飲食店運営や運動教室のイベント実施等、多世代が利用でき魅力が向上する環境の創出方法を模索していきます。
 - 子どもをはじめとする多様な世代が関われるプレーパーク等の導入についても、地域や各企業・団体との連携手法を検討します。
- ### 基本的な考え方5 安全・安心の確保
- 公園の環境改善による見通し確保や、地域や委託業者と連携した警備体制の強化等に加え、地域の要望に応じて防犯カメラの設置を進めていきます。
 - 子どもたちをはじめ、利用者が安心して公園を利用できるようにするために、地域コミュニティ全体で安全・安心な公園環境を創出する仕組みを整えていきます。



●今後の展開

- ・ 基本的な考え方に基づき、事業や取り組みについて対象公園を絞り、優先順位を付けた計画的な事業の進展を目指します。
- ・ 誰もが利用しやすい公園環境の整備に向け、関係機関や地域と密に連携し進めます。
- ・ 関連する方針や計画の進捗状況、社会情勢、区の財政状況も加味しながら、必要に応じて内容の見直しも検討します。